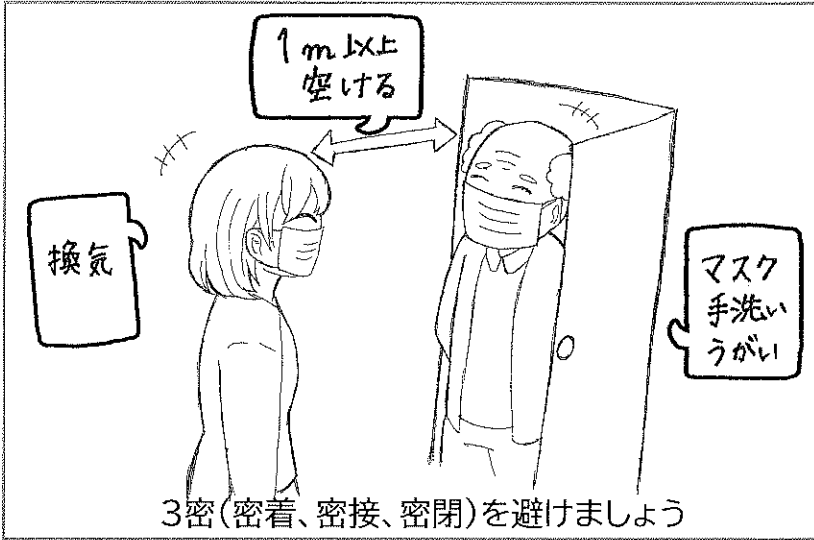


# 安全で丁寧な「個別支援活動(見守り活動)」を行うために

～これからの時代にあった活動を考えるガイドライン～

## 〇 気を付けていただきたいこと

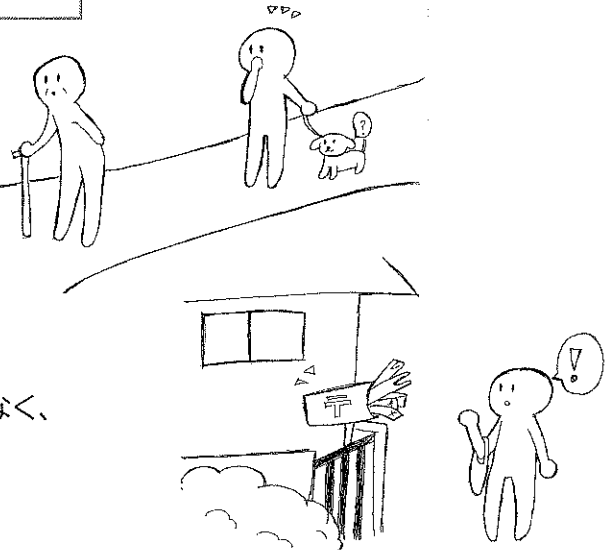


### ●災害時・緊急時に備えて●

見守り対象者、ボランティアの名簿を整えましょう  
団体の連絡先を伝えましょう(差支えのある場合は旭区社協でも可)

## 💡 活動のヒント

- ・「ゆるやかな見守り」を広げましょう  
見守り方法の工夫により、長時間会話することはできるだけ避け、街で会った際のあいさつや隣近所による見守り等、地域全体での見守り活動を広げていきましょう
- ・地域活動を通した見守りを進めましょう  
生活支援ボランティア等では、依頼事項の解決だけでなく、民生委員等と連携し、見守り活動にもつなげましょう



## 🎉 今後の活動に向けて 🎉

皆さんがこれまで行ってきた活動は、何物にも代えがたい素晴らしいものであり、多くの地域住民の皆さんが救われてきました。しかし、「新しい生活様式」が言われている中、活動をそのままの形で継続していくことは難しい状況です。

そこで、各団体内で活動目的を振り返り、今後の活動内容を話し合しましょう。話し合いの結果として、これまでの活動をベースとしつつやり方を工夫したり、これまでのやり方を変えることもあるかもしれません。しかし、「地域共生社会」を目指す上で皆さんの活動目的が変わるものではなく、これまで以上に必要不可欠なことは言うまでもありません。旭区社協は、今後も皆さんの活動に寄り添いながら、ともに地域共生社会を目指していきたいと考えています。



社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会

電話:392-1123 FAX:392-0222

令和2年6月